

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市今宿地域ケアプラザ

事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

- ・今宿地域ケアプラザの所管地域は、旭区内のケアプラザでは65歳以上の高齢者数が多く、このため要介護認定者数、介護予防が必要な高齢者数、行政サービス積極的介入者数、特定高齢者数、高齢者単身世帯数及び認知症者推定値が他の地域に比較し多い状況にあります。
- ・このような状況にありますが、高齢者が住み慣れた地域で安心して何時までも生活が継続できるよう、元気な高齢者は健康な状況を維持できるよう、また介護が必要な高齢者は地域で支えて介護の支援をしていくため、地域ケアプラザが中心となって地域包括支援センター機能と地域活動交流機能を連携させて、社会資源等を活用しケアマネジメントをしていく必要があります。
- ・「地域福祉保健計画」では2連合自治会でのささえあい等の計画が策定されておりその計画実現に向けて住民のお互いが支え合いのできる地域を目指して、ケアプラザがその中心的役割を果たしていかなければならないものと認識しております。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・開設後16年が経過し老朽化が進んでいますが、建築基準法、消防法等の関係法令等を遵守し、今宿地区センターとも相互に連携して建物、設備の良好な維持管理に努めるとともに、館内外の見回り等を実施しました。
- ・清掃業務、害虫駆除、機械警備業務、自動ドア保守点検業務、自家用電気工作物保守点検業務、冷暖房機器保守点検業務、冷温水発生機・冷却塔保守業務、設備総合巡視点検業務、消防設備保守点検業務及び植栽管理業務については、専門業者との業務委託契約により良好な管理に努めました。

イ 効率的な運営への取組について

- ・当ケアプラザは横浜市今宿地区センターとの複合施設であるため、施設管理運営の役割分担に基づき良好な管理運営に努めました。
- ・複合館であるため利用者は多く、地域の皆さまに快適に利用していただくために、相互に連絡を密にして利用者の満足度に留意しながら、利用者アンケート等利用者の意見反映にも迅速な対応に努めました。

ウ 苦情受付体制について

- ・ 苦情受付窓口を設置し、苦情解決責任者、苦情受付担当者及び第三者委員を定め常時苦情を受付けて解決する体制を整えるとともに、利用者・家族等から苦情の申し出があった時は、誠意をもって対応するよう苦情対応マニュアルにて職員に周知し徹底を図りました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 防犯対策については、基本方針を策定して職員の役割分担のもと周知を図り、被害ゼロを達成しました。
- ・ 地震等災害対策については、マニュアルを策定し、自衛消防組織、地震発生時の対応、火災発生時の対応、防災備蓄一覧表及び緊急連絡網を定め、災害発生時に迅速に対応できるよう努めました。
- ・ 横浜市今宿地域ケアプラザ特別避難場所開設マニュアルにより、開設、受入及び移送等運営が迅速に対応できるよう努めました。

オ 事故防止への取組について

- ・ 介護保険サービス提供中の事故防止の徹底を図るため、事故防止対応マニュアルを作成し、デイサービス中（入浴を除く）の注意事項（13項目）、入浴中の注意事項（7項目）、入浴介助の配慮（8項目）、送迎時の注意事項（9項目）また緊急時看護師対応マニュアルを作成し、デイサービス業務中の利用者サービス提供時に万全を期しました。
- ・ 交通事故等事故防止のため定期的に職員研修を行い事故防止の徹底を図りました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 個人情報の保護については、「個人情報保護に対する基本方針」によりその適切な取り扱い等に努めるとともに、この基本方針に則り個人情報マニュアルを定めて、職員個人の日常業務の中で周知徹底を図り、「地域ケアプラザ個人情報漏えい防止チェックシート」により定期的にチェックしました。
- ・ FAX誤送信による個人情報漏えい事故防止のため、ダブルチェックを徹底するとともに、職員研修を実施し職員の意識徹底と注意喚起を図り、再発防止に万全な体制を取りました。

キ 情報公開への取組について

- ・ 事業内容等の情報提供につきましては「けあぷら通信」を年6回発行（奇数月）し、管内の自治会に回覧していただき広報に努めました。
- ・ ケアプラザホームページでは講座、教室、介護の情報、施設の案内、ケアプラ通信、アクセス、事業報告、事業計画等についてきめ細かくお知らせし、また施設内の掲示板でも掲示を行い広報に努めました。

ク 人権啓発への取組について

- ・ 憲法に規定されている基本的人権の永久不可侵性と基本的人権の本質について深く認識するとともに、横浜市の人権尊重の小冊子（互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会の実現をめざして）について、常勤職員会議およびデイサービスカンファレンスの場を利用して認識を深めました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・ヨコハマ3R夢プランに沿って、ごみの発生抑制・再使用・再生利用を積極的に取り組みました。
- ・日常業務においては、光熱水費の節減のため冷暖房の適正温度設定や封筒・用紙類を再利用するとともに清掃や整理整頓を徹底して行い、施設の良い環境づくりに向けて取り組みました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者兼介護支援専門員 常勤 1 名
- ・ 介護支援専門員 専任非常勤職員 1 名、兼任非常勤職員 1 名

《目標》

- ・ 要支援状態にある高齢者に対し今後も住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、ご利用者の意思を尊重しながら介護予防サービス計画書を作成しました。
- ・ 適正な介護予防サービスの実施や介護保険外のサービスについての情報なども提供できるよう、関係機関との連絡調整を行いました。
- ・ 業務の実施にあたっては関係市区町村や民生委員、地域の保健・医療・福祉サービス提供事業者と連携を取りながら利用者の不利益にならないよう公平中立な立場で業務を実施しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ・ ありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

・ 高齢者の多い地域ですので併設している居宅介護支援事業所や地域の居宅介護支援事業所、サービス事業所、民生委員やボランティアなど地域の関係機関とも連携を図りながら適切な介護予防サービスを提供しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
258	261	267	265	267	264
10月	11月	12月	1月	2月	3月
270	269	275	270	280	283

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者兼介護支援専門員 常勤 1 名
- ・ 介護支援専門員 常勤 2 名 非常勤 1 名

《目標》

- ・ 専門的価値、知識、技術を高め、要介護状態にある高齢者が住みなれた地域でその人らしく暮して行けるよう問題課題に向き合いました。
- ・ 地域の身近な相談窓口である地域包括支援センターに併設された居宅介護支援事業所として地域包括支援センター等と連携した支援を行うことができました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ・ 原則としてありません

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 地域包括支援センターと併設された居宅介護支援事業所として、地域包括支援センターとの連携を図り、支援の複雑なケース等に積極的に係わり、地域の方々が安心して暮して行く為の問題課題に取り組んで来ました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
1 1 4	1 1 2	1 1 6	1 1 8	1 2 5	1 2 2
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 1 9	1 1 9	1 1 8	1 2 1	1 2 1	1 1 2

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 送迎、入浴、健康状態の確認
- 給食、レクリエーションの提供
- 口腔機能向上プログラム

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1）	614円	入浴介助	54円
（要介護2）	725円	口腔ケア	161円
（要介護3）	837円	サービス提供体制強化加算	7円
（要介護4）	948円	介護職員処遇改善加算（I）	
（要介護5）	1060円		

● その他の実費負担

- ・リハビリパンツ 100円
- ・尿とりパット 20円
- 食費負担 ・食費 750円

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 10:30 ~ 15:35 （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

- ・生活相談員 3名（常勤3名）
- ・看護職員 4名（常勤1名、非常勤3名）
- ・介護員 18名（非常勤）
- ・運転員 3名（非常勤） 事務員 1名（非常勤）

《目標》

- ・安全、安心を第一に考え、ご利用者様にレクリエーション、個別性のある趣味活動や創作活動等のサービスを選択して頂き、提供することができました。
- ・ご利用者様の身体機能の維持・向上を目指し、集団ストレッチ体操、及び平行棒やボール等を使った機能訓練を行いました。また、口腔ケアを実施しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・季節行事として、運動会（5月）、秋祭り（9月）、クリスマス会（12月）を実施しました。俳句や絵手紙など選べる趣味活動や創作活動を提供しました。また月1回「デイカフェ」を行い地域の方とふれあう機会を設けました。
- ・四季折々の食材を使い、行事や季節に合わせた食事を提供することができました。
- ・毎月誕生会を実施し、写真のプレゼントを行いました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
702	697	702	744	743	736
10月	11月	12月	1月	2月	3月
789	783	762	705	727	819

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 送迎、入浴、健康状態の確認
- 給食、レクリエーション
- 運動器機能向上訓練、口腔機能向上

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

(要支援1)	1766円	運動器機能向上加算	242円
		口腔機能向上加算	161円
(要支援2)	3621円	選択的サービス複数実施加算	515円
		サービス提供体制加算 要支1	26円
介護職員処遇改善加算(I)		サービス提供体制加算 要支2	52円
●食費負担	食費	750円	
●その他	リハビリパンツ	100円	尿とりパット20円

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 10:25 ~ 15:30 (半角で入力 例 9:00~15:00)

《職員体制》

- ・生活相談員 3名(常勤3名)
- ・看護職員 4名(常勤1名、非常勤3名)
- ・介護員 18名(非常勤)
- ・運転員 3名(非常勤) ・事務員 1名(非常勤)

《目標》

- ・安全、安心を第一に考え、ご利用者様の意思を尊重した創作活動やレクリエーションを提供することができました。
- ・ご利用者様の身体機能の維持向上を目標として、ご希望の方には、運動器機能向上プログラムや口腔機能向上プログラムを実施しました。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

- ・季節行事として、運動会(5月)、秋祭り(9月)、クリスマス会(12月)を実施しました。選べる趣味・創作活動を提供しました。
- ・月1回「デイカフェ」を行い地域の方とふれあう機会を設けました。
- ・四季折々の食材を使い、行事や季節に合わせた食事を提供する事ができました。
- ・毎月誕生会を実施し、写真のプレゼントを行いました。

《利用者実績(契約者数)》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
29	32	37	37	30	32
10月	11月	12月	1月	2月	3月
28	27	28	25	27	28

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ・横浜市後見的支援室絆との共催により、横浜市障害者後見的支援制度についての講演会を2回と出張相談会を6回（偶数月第4木曜日）開催しました。
- ・けあぷら通信やリーフレット等による情報発信、地域での催しや食事会等に出席して、高齢者だけに限らず様々な分野の相談機関であることを発信しました。
- ・地域のボランティア活動等インフォーマル情報の把握と提供に努めました。
- ・普段から関係機関との連携を図り、相談内容に応じてスムーズに連携や引き継ぎが行えるよう対応しました。
- ・地区社協と連携しながらこども向けリトミックや救命救急講座を行いました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

- ・定期的に5職種会議を開催して、それぞれのセクションで抱えている課題や情報の共有を図り連携強化に努めました。
- ・地域包括支援センターと地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターも含め、地域の生活者の視点を取り入れた支援としてサロンの回数を増やすなど、地域の方が利用しやすいように工夫を図っていきました。
- ・ケアプラザで評判のよい事業（くつろぎカフェ）は、地域の自治会館へ出向き、ケアプラザまで来られない方を対象に楽しんでいただきました。
- ・地域包括支援センターが把握したひとり暮らし高齢者の支援等の課題を、地域活動交流コーディネーター・生活支援コーディネーターも含めて地域に伝え自主事業（地域資源）を紹介するなど、地域でできる支援体制や啓発事業などへとつなげていきました。
- ・地域包括支援センター各職種と生活支援コーディネーターが連携して、地域のさまざまな個別の課題の解決へ取り組んでいきました。（地域福祉保健計画など）
- ・上記取組から得た情報を記録しケアプラザ内で共有することにより、どの職員でも対応できるような体制を作りました。

3 職員体制・育成

- ・常勤職員と非常勤職員を適切に配置し、適正な業務運営に努めました。
 - ・所長 常勤1名
 - ・地域包括支援センター 常勤4名（保健師1名、社会福祉士1名、主任ケアマネジャー2名）
非常勤2名（ケアマネジャー1名、事務員1名）
 - ・介護予防支援 常勤1名、非常勤2名
 - ・地域活動・交流 コーディネーター常勤1名、サブコーディネーター非常勤5名
 - ・生活支援体制整備事業コーディネーター常勤1名
 - ・通所介護・介護予防通所介護 常勤4名、非常勤21名
 - ・通所介護・介護予防通所介護 運転員 非常勤3名
 - ・居宅介護支援 常勤3名、非常勤1名
 - ・庶務・経理 常勤1名
 - ・介護保険請求等 非常勤1名、
 - ・衛生管理清掃員 非常勤2名
- ・職員の資質向上等を図るため研修等に積極的に参加するとともに、研修参加者による報告および伝達研修等により研修成果を職員会議および各部門会議において、職員間で共有し、業務に反映するように努めました。

4 地域福祉のネットワーク構築

- ・ 地域サービス等のリストやマップを必要に応じて住民に開示し、情報公開に努めるとともに、常に新鮮な情報を提供できるよう、定期的に見直しをしてまいりました。
- ・ 地域の関係機関や関連団体との連携をスムーズにするため、窓口になる人やキーパーソンにケアプラザ及び地域活動交流の業務をアピールし、顔の見える関係づくりに励みました。
- ・ 地域の母親クラブの交流会を開催し、子育ての課題を拾っていきます。また東希望ヶ丘地区の「子育て応援隊」の活動を支援して、課題解決のためのネットワークの構築に繋げてまいりました。

5 区行政との協働

- ・ 多様化する地域住民のニーズに応えるため、区の福祉保健課や高齢・障害支援課と連携をとりながら住民のニーズに沿った事業を企画・展開していきました。
- ・ 子育て支援事業では、区の保健師の講話を取り入れるなど、適切な指導を受けて事業に資していきました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ 地域全体の高齢化が進み、かつケアプラザまでの交通の便がない地域が多いため、高齢者を対象にした事業では、こちらから地域の自治会館へ出向きそこで事業（くつろぎカフェの地域版）を行いました。
- ・ くつろぎカフェの成功例を講演会等で幅広く他のエリアにも広げていきました。
- ・ 事業終了後だけではなく、事業開催中も参加者からアンケートをとり、利用者のニーズを反映できるよう事業を見直しました。
- ・ 年6回奇数月に発行の「けあぷら通信」やホームページ（日記の更新など）を通じて地域の皆様へ情報を提供しました。
- ・ 館内の入り口及び全貸室に掲示版を設け事業・イベントの案内を行いました。
- ・ 4月登録団体交流会、3月ボランティア交流会を行いボランティアの情報提供及び消防訓練を行いました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ 地域活動交流事業から今年度も「今宿サマーフェスタ」に子供から大人まで参加していただき、地域活動のきっかけづくりをいたしました。
- ・ 地域活動交流事業から地域の配食サービスの担い手に繋げるなど、地域活動を支援しました。
- ・ くつろぎカフェから新規男性の利用者様も増え、その方々にケアプラザの事業の案内等を行いました。
- ・ 登録団体交流会により活動の内容をお知らせすることで、他の団体にも参加できるきっかけ作りを行いました。
- ・ 利用団体の成果をデイサービスや今宿サマーフェスタで発表していただいたりし、インフォーマルサービスの紹介を通して住民同士の交流を図りました。
- ・ 3つの作業所にパンとおやつ及びとうふ販売の場を提供し、作業所と住民の交流を図るとともに、作業所の活動の支援を行いました。
- ・ 毎年5月末に開催している合同歌声喫茶でも区内の作業所に声かけをし、作業所の商品の販売をお願いしました。
- ・ 地域作業所による喫茶（Mori-Café）の運営がますます地域の方々との交流の場になるよう努めました。
- ・ 地域の一般団体の活動が福祉保健活動に発展するよう、施設利用申込み時に啓発するとともに、年1回福祉保健活動記録を提出してもらうなど、住民である利用者

向けてボランティアの意識づけに努めました。

- ・登録団体交流会を開催しそこでの情報交換を通して、活動団体相互の連携の機会を創出しました。
- ・施設の登録団体の情報を定期的に見直し、情報開示の確認をするとともに、掲示板やホームページの活用などを周知して、地域住民によるインフォーマルサービスの紹介に積極的に取り組みました。また、施設内の廊下ギャラリーが団体の活動の発表・展示の場として定着するよう PR に励み、住民同士の情報公開・交流の場となるよう努めました。
- ・ホームページには地域の方を3ヶ月に1度紹介するコーナーや、日々館内で行われている行事を毎日「いまじゅく日記」で掲載するように努めました。
- ・今年28周年になる旭ジャズまつりの応援も行いました。

3 自主企画事業

- ・高齢者に人気のある歌の会や体操教室を数多く企画しました。
- ・利用者様から季節毎にアンケートを取り、人気の高い事業を開催できる様、準備をしました。
- ・2010年からスタートした旭公会堂での「合同歌声喫茶」は1度に大勢の参加者に来ていただくため、その機会を活用して各ケアプラザで行われている自主事業を案内することにより、その後各ケアプラザでの利用に繋がるようにしました。東日本大震災・熊本地震の義援金の活動も行いました。
- ・2015年に義援金を届けた南相馬市の作業所に記念バッジの製作をお願いし応援しました。
- ・子ども向けには「吹き矢」「料理」など、普段経験できないことにもチャレンジしました。
- ・地域の方から先生を発掘し、事業を展開しました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・登録団体の皆様から意見を聞いてボランティアの育成・定着に努めました。
- ・貸し部屋利用の一般登録団体に対して、デイサービスでの交流やケアプラザの事業（今宿サマーフェスタ）の協力を求めるなど、随時ボランティア活動の意識づけを行い、地域や利用者のニーズに合ったボランティアの育成に努めました。
- ・年度末に「ボランティア交流会」を開き、ボランティア同士の交流の場を提供するとともに、職員とボランティアが忌憚のない意見交換・情報交換をして、より良い施設運営が出来るよう次年度の事業計画に反映させました。
- ・地域にどういうニーズがあるのか、また地域にどういうことを出来る人がいるのかなど、さまざまな情報を収集して、広報誌やホームページにて紹介しました。
- ・ボランティアの派遣・コーディネート・育成について、ボランティア活動の啓発に努めました。
- ・新規事業の企画も、事業終了後地域でボランティア活動に繋がる道筋を作りました。
- ・既に活動しているコーヒーボランティアのみなさんの活動場所も広げました。
- ・ケアプラザの敷地内に花壇を設け、土をテーマにボランティアのメンバーを集め活動しました。
- ・コーヒーボランティアが活動できる場を今以上に増やしました。
- ・コーヒーボランティアの皆さんとコーヒー講座を実施し、多くのコーヒーボランティアを育てました。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ・高齢者に関する様々な相談を総合的に受け止め、どの職種が相談を受けても相談内容を的確に把握し情報提供が行えるよう努めました。また担当者が不在でも相談者への継続的なフォローが行えるよう職員間での情報共有を図りました。
- ・けあぷら通信、サロン等で配布するチラシ、地域の催しや会合等に出席して地域包括支援センターが身近な相談機関であることの周知に努めました。
- ・専門性の高い相談については、速やかに関係機関や関係部署への引き継ぎや連携を図りながら、継続的に支援を実施しました。
- ・積極的な訪問により、ケアプラザへの来所が困難な方の相談を受け、電話や来所では気づきにくい心身の状況や生活環境等の課題把握に努めました。
- ・6月にニュータウン福祉まつりに参加し、出張相談会を開催しました。

地域包括支援ネットワークの構築

- ・地域の医療関係機関や保健・福祉関係機関、各種団体等と各種カンファレンスや地域ケア会議の開催、会合等への出席により、地域の課題や情報の共有を図り関係性の強化に努めました。
- ・徘徊 SOS ネットワーク協賛店や地域の医療機関等回りを通して関係性の構築を図り情報の共有に努めました。
- ・地域の食事会やサロン、配食グループの活動等に参加して、ボランティアの方々や地域住民等との関係性の構築に努めました。

実態把握

- ・地域の医療関係機関や保健・福祉関係団体、介護サービス事業所、各種団体等との連携を通して、支援が必要な人の早期発見や地域のニーズ等を把握し必要に応じて同行訪問や情報提供等の支援を行いました。
- ・75歳以上の独り暮らし高齢者見守り推進事業に於いて、区役所や民生委員と連携し地域の独り暮らし高齢者の把握と相談支援等が必要な高齢者宅への訪問等を行いました。
- ・地域福祉保健計画やデータでみるあさひ等の各種統計や報告書を活用して、地域別の情報収集に努めました。

2 権利擁護

権利擁護

《成年後見制度》

- ・1月と3月に司法書士による成年後見・相続・遺言等法律問題についての出張相談会を実施しました。
- ・けあぷら通信の活用や認知症カフェへの出席等を通して成年後見制度についての説明を行いました。
- ・笹野台地域ケアプラザと旭区社会福祉協議会と共催にて『やさしく分かる成年後見制度』の講演会を12月に開催し、制度の普及・啓発に努めました。
- ・旭区社会福祉協議会と連携を図り、日常生活自立支援事業（あんしんセンター）の

普及にも努めました。

- ・成年後見制度に関する相談に応じ、制度の説明から手続きに関するのアドバイス等を行いました。また必要に応じて専門機関に繋ぎました。

《消費者被害》

- ・民生委員・ケアマネジャー・ヘルパー等日常的に高齢者と接する機会の多い関係者へこまめに情報提供を行い、被害の予防や早期発見に努めました。
- ・広報誌を利用して最新の手口の紹介や被害に遭った際の対応方法等について周知しました。
- ・区役所や区内の地域包括支援センター、区社会福祉協議会等と協力して、消費者被害防止の街頭キャンペーンを3月に開催し、様々な年代に向けて注意喚起を行いました。
- ・個別の事案については、消費生活センター等関係機関と連携を図りながら問題解決に当たりました。

高齢者虐待

- ・1月に区役所と旭区内地域包括支援センターとの共催により、区民や支援者向けに高齢者虐待予防講演会を開催。
- ・けあぶら通信の活用や、認知症カフェ等への参加等を通して、地域全体で高齢者虐待についての関心を高め、早期発見や虐待の予防・防止に向けた取組みと見守りの目を養っていきます。
- ・虐待予防の視点を大切にし、介護者が孤立しないように家族介護者の集いへの参加の声かけや定期的な見守りを行っていきます。
- ・日頃から支援者との情報共有や連携を図り、虐待の早期発見や適切な支援に努めていきます。
- ・虐待や虐待と疑われるケースの相談・通報に対して、早期に区役所等関係機関への報告を行うと共に、連携を図りながら継続的に対応していきます。

認知症

- ・地域のデイサービス事業所と協力して認知症カフェの立上げを行い、認知症当事者や家族、地域の方や支援者が集える場所を作りました（6回）。
- ・認知症の当事者と家族が安心して生活を送れるよう、定期的に家族介護者の会を開催しました。
- ・9月に旭区徘徊 SOS ネットワーク協賛店向けに認知症サポーター養成講座の開催と意見交換会を行いました。
- ・広報誌の活用や地域の会合等に参加して、旭区徘徊 SOS ネットワークシステムについての情報提供を行いました。
- ・9月にアルツハイマーデーでの街頭キャンペーンを通して、地域に向けて認知症に関する理解の向上を図り、本人や介護者を支援する活動を展開しました。
- ・3月に地域住民を対象にした認知症サポーター養成講座を開催し、認知症への正しい理解を深め、地域全体で認知症を見守っていける体制作りに努めました。
- ・「希望が丘東地区高齢者をみんなで支える町づくり検討会」では、認知症の当事者やその家族を地域で見守る体制の構築について検討しました（3回）。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

- ・要支援者に主体性や意欲を引き出せるようなケアプランを作成し、地域でつながりを持ちながら自立に向かう介護予防ケアマネジメントを行いました。
- ・委託を行う場合は担当ケアマネジャーと連携し、積極的にサービス担当者会議やカンファレンスに出席し適切なケアマネジメントができるように助言や指導を行いました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・インフォーマルサービス等の情報収集に努め、地域住民やケアマネジャーに対し情報提供を行ないました。
- ・地域包括支援センターと民生委員とのネットワークを強化するため、連合会ごとに地域の高齢者等に関する情報交換を行ないました。個別のケースに関しては、同行訪問するなど、ケースにあった対応をしました。

医療・介護の連携推進支援

- ・地域の医療機関や薬局を訪問し、地域包括支援センターの通信紙やチラシを配布して役割を知ってもらうとともに連携を図りました。
- ・ケアマネジャー事業所連絡会で、精神保健福祉専門職を招いて「こころの病気と関わり方のポイント」について学び連携を図りました。

ケアマネジャー支援

- ・相談にはいつでも対応できる体制を整え、ケアマネジャーが一人で抱え込まないよう適切なアドバイスを行いました。
- ・ケアマネジャー連絡会を年4回実施し、ケアマネジャーの勉強とお互いの情報交換の機会の場を設けました。
- ・区内地域包括支援センターと共働で新任・就労予定ケアマネジャーに対しての研修を実施しました。また、地域包括支援センター単位での個別実習も行っていました。
- ・サービス担当者会議やケアカンファレンスの開催支援をするとともに、会議に出席してスーパーバイズを行いました。
- ・支援困難事例や緊急時の支援については、区役所や関係機関と連携を図りながら迅速に対応しました。
- ・旭ケアマネットの運営委員として会の運営に関わりました。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・区役所等行政機関、民生委員、病院、診療所等医療機関、介護サービス事業者、利用者、家族や関係住民、地区社会福祉協議会と会議や諸行事等あらゆる機会を捉えて、意識的に「顔見知り」となるよう関係構築に努めて、支援の必要な高齢者が明らかになった場合に、関係者が支援チームとして協働できる基盤作りを進めてきました。
- ・地域ケア会議を積極的に開催し、多職種の参加を呼び掛け、会議を通してネットワークを図りました。
- ・在宅医療相談室とも積極的に連携を図りました。

5 介護予防事業

介護予防事業

- ・ 地域の高齢者の状態を把握し、介護予防のきっかけとなる事業を提供し、その方にあつた支援をしました。
- ・ より身近な地域の中で介護予防に取り組んでもらえるように、地域での介護予防講座を継続して開催し、その活動を自主化しました。(第4金曜倶楽部:スマイル体操)
- ・ 「大人の寺子屋」を開催しました。今までにケアプラザの事業に参加したことがない方が参加し、ケアプラザの他の自主事業や自主活動グループの活動に繋がりました。
- ・ 地域の中の「みな元気 旭!ステーション」の活動支援を行ないました。
- ・ 協力医と連携し、「大人の寺子屋」の中で健康講座を2回開催しました。
- ・ サロン散歩道で、認知症予防のミニ講座を実施しました(12回/年)
- ・ ロコモ予防体操講座(2回/年)、シルバーエイジの栄養講座、スクエアステップ講座(12回/年)、スクエアステップ紹介講座、ガーデンボランティア講座を実施しました。

6 生活支援体制整備事業

- ・ 地域包括支援センターの保健師と連携し、今宿地域ケアプラザエリアの「元気づくりマップ」を作成しました。
- ・ 地域包括支援センターの個別訪問同行(単独訪問含む)を18軒(延べ28回)、ケアプラザ内外の事業及びサロンへの参加を延べにして約60回実践して参りました。
個別訪問では、地域の皆様個々の生の生活に直接触れることで、一個人としてのニーズを捉えることができましたし、同様のニーズが他でも見られた場合には、それは一個人というフィルターを通して地域の課題となっているということが推察できました。また、これを元に個別ファイル、個別ニーズ一覧リストを作成し、訪問後も地域包括支援センター職員と共に(或いは単独で)関わりを継続して参りました。その成果として、デイサービスの利用やケアプラザ内外の事業及びサロンへの参加に幾例か結びつけることができました。
ケアプラザ内外の事業及びサロンでは、ここでも地域の皆様や各キーパーソンの方々の生の声を直接お聴きすることができました。回を重ね顔見知りの関係になることで、少しずつですが顔と名前を憶えて頂き、声を掛けて頂く機会も増え、自然な会話も生まれるようになりました。また、介護予防事業や地域包括支援センターと地域活動交流との合同事業への参加は、今後の生活支援体制整備事業でのサロン等の「居場所づくり」を考える上で参考になりました。
- ・ 希望が丘東地区を対象とした配食サービスの配達の適宜同行(2回/29軒)、二俣川ニュータウン地区を対象としたミニデイサービスの要素のある会食サービスへの定期参加(4回/月1開催)をそれぞれして参りました。こうした取り組みが、ご利用者との顔見知りの関係構築を図れると同時に、安否確認という要素を持った活動となりました。
- ・ 担当圏域内を自分の足で繰り返し何度も歩くという実践の結果、2月末、今川公園でお近づきになった地域の方を、太極拳の講師としてケアプラザの新事業にお招きすることになりました。地域包括支援センターの介護予防事業と連携して、平成29年5月に第1回目の講座を開催致します(参加申し込み16名)。
- ・ 3月末、東希望が丘中尾あけぼの会地区担当の民生委員さんにご賛同頂き、自宅を開放した「自宅サロン」の実現に向けた確認作業をするに至りました。
- ・ 年度末の3月に既存のエリア会議を活用して、「コミュニティーバス」導入に関する協議体を実施致しました。

7 その他

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 横浜市今宿地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	生活支援体制整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	12,824	28,285	151					5,143
	介護保険収入					17,180	86,776		
	その他	758	226	0	10,123	1,397	8,640	0	0
	介護予防 ケアマネジメント費				3,273				
	事業収入	652	166		6,850	1,367	7,017		
	雑収入	106	60			30	1,623		
	収入合計(A)	13,582	28,511	151	10,123	18,577	95,416		5,143
支出	人件費	11,085	28,687		4,038	15,724	53,585		2,900
	事務費	884	1,795		1,073	1,255	17,752		/
	事業費	807	837	74	2,375	218	10,429		13
	管理費	2,556	672				3,954		/
	その他	887					1,589		
	その他の支出						1,589		
	消費税	887							
	支出合計(B)	16,219	31,991	74	7,486	17,197	87,309		2,913
	収支 (A) - (B)	-2,637	-3,480	77	2,637	1,380	8,107	0	2,230

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

(単位:円)

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
くつろぎカフェ	地域住民	105163	13313	91850	24000	76426	4737
	延べ641人						
	200円						
第三日曜ラボ (小中学生)	地域住民	81668	3168	78500	40000	22402	19266
	延べ157人						
	500円						
初心者のための習字教室	地域住民	49645	29245	20400	30000	17701	1944
	延べ68人						
	500円						
ママばあやの手作りおやつ	地域住民	14647	2647	12000	5000	7899	1748
	延べ44人						
	800円						
親子で吹き矢を作って遊ぼう	地域住民	7376	4876	2500	5000	756	1620
	延べ17人						
	家族500円2組・ペア300円5組						
ペーパークイリング ①	地域住民	17519	7019	10500	9000	7871	648
	4人						
	500円						
親子のお菓子教室	地域住民	19101	9601	9500	10000	7805	1296
	延べ41人						
	500円						
登録団体交流会	地域住民	1853	1853	0	0	1853	0
	46人						
	0円						
合同歌声喫茶・2016 (収入は実行委員会で管理)	地域住民	0	0	0	0	0	0
	436人						
	0円						
第四金曜倶楽部	65歳以上の地域住民	65013	8513	56500	15000	26460	23553
	延べ134人						
	500円						
スクエアステップ講座(ABC会)	65歳以上の地域住民	0	0	0	0	0	0
	延べ167人						
	0円						
ニュータウン福祉まつり「健康フェア」	地域住民	0	0	0	0	0	0
	66人						
	0円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
大人の寺子屋	65歳以上の地域住民	123826	111926	11900	50000	33644	40182
	延べ255人						
	0円						
サロン散歩道ミニ講座	地域住民	0	0	0	0	0	0
	延べ948人						
	0円						
家族介護者の集い	地域住民	1400	1400	0	0	1400	0
	延べ44人						
	0円						
医療相談	地域住民	2222	2222	0	0	2222	0
	延べ32人						
	0円						
認知症カフェ	地域住民	0	0	0	0	0	0
	延べ72人						
	円						
子供のための救命救急講座	地域住民	17519	7019	10500	9000	7871	648
	27人						
	円						
ペーパークイリング ②	地域住民	9059	4059	5000	6000	2411	648
	延べ18人						
	円						
アロマテラピーはじめの一步	地域住民	20309	9809	10500	10000	9985	324
	延べ23人						
	円						
クラシックのタペ	地域住民	5865	765	5100	0	3665	2200
	17人						
	500円						
飾り寿司でおもてなし	地域住民	37898	9898	28000	15000	20954	1944
	延べ60人						
	500円						
今宿サマーフェスタ・2016	地域住民	198638	668	197970	11000	139092	48546
	延べ2600人						
	各ブースにて						
横浜市障害者後見的支援制度 講演会	地域住民	0	0	0	0	0	0
	延べ39人						
	円						
横浜市障害者後見的支援制度 出張相談会	地域住民	3600	0	0	0	3600	0
	延べ3人						
	円						

平成28年度 自主事業収支報告書

旭区SOSネットワーク協賛店 認知症サポーター養成講座	地域住民						
	4人	0	0	0	0	0	0
	円						
サマーフェスタ「健康フェア」	地域住民						
	延べ266人	9072	9072	0	0	6912	2160
	0円						
やさしく分かる成年後見制度	地域住民						
	39人	2160	0	0	0	2160	0
	円						
クリスマスケーキ講習会	地域住民						
	8人	10563	4163	6400	5000	4915	648
	800円						
スクエアステップ講習会	地域住民						
	25人	0	0	0	0	0	0
	0円						
一人暮らしの高齢者 お楽しみ会	地域住民						
	53人	8585	8585	0	0	8585	0
	0円						
コーヒーカップペインティング	地域住民						
	20人	16936	936	16000	10000	6612	324
	800円						
ママとばあやの手作りおやつ'16秋'	地域住民						
	20人	14647	2647	12000	5000	7899	1748
	800円						
旭ふれあい区民まつり	地域住民						
	613人	235	235	0	0	235	0
	0円						
アロマ小物	地域住民						
	11人	11614	2814	8800	5000	5966	648
	円						

平成28年度 自主事業収支報告書

押し花のある暮らし	地域住民						
	延べ36人	34535	6535	28000	15000	18887	648
	800円						
台湾家族料理	地域住民						
	12人	19025	2525	16500	5000	13377	648
	500円						
伝えたいおうちごはん	地域住民						
	延べ20人	32565	2565	30000	10000	21269	1296
	1500円						
紙バンド手芸	地域住民						
	12人	10438	2438	8000	5000	4790	648
	800円						
新・人生講座	地域住民						
	26人	1850	1850	0	0	1850	0
	0円						
「成年後見制度・遺言・相続」 出張相談会	地域住民						
	延べ8人	0	0	0	0	0	0
	円						
シルバーエイジの栄養講座	地域住民						
	12人	7744	1744	6000	0	6779	965
	500円						
ロコモ予防 体操講座	地域住民						
	延べ43人	36585	36585	0	24000	0	12585
	円						
スクエアステップ紹介講座	地域住民						
	8人	6289	6289	0	5000	0	1289
	0円						
ガーデンボランティア養成講座	地域住民						
	25人	25140	25140	0	7000	16372	1768
	円						
健康チェック	地域住民						
	延べ35人	0	0	0	0	0	0
	0円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業報告書

横浜市今宿地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
くつろぎカフェ	普段出かける機会が少ない方に、出かける機会を増やしてもらう。引きこもり予防。また交流関係も広げていただき仲間作りの場としてもらう。	毎月第2水曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第三日曜ラボ	小学生向けの講座。毎月内容が変わり、美術・手芸・実験・調理など行っていきます。	毎月第3日曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初心者のための習字教室	習字の基礎を学び、仲間作りの場とする。現在活動している「とんぼの会」に繋げ活動していただく。	4月～6月 (6回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママばあやの手作りおやつ	家庭で簡単にできるおやつ作りに挑戦していただき、お菓子作りを通して地域の方々と交流してもらう。1回目はクッキーを3種類、2回目は熊のかわいいマフィンを作った。	5月 (2回)

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で吹き矢を作って遊ぼう	親子や友達と一緒に吹き矢を作って遊び、交流の場とする。自分で作り、失敗しながら工夫する知恵をつける。	5月22日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ペーパークイリング ①	細長く紙をくるくる丸めたパーツを組み上げて仕上げるクラフトアート。オリジナルのメッセージカード・フレーム制作を楽しんでいただく。	6月～7月 (3回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子のお菓子教室	親子で参加することで親子の絆を深め、手作りのお菓子を作る喜びを体験する。また地域の交流を広げ、サマーフェスタでの子供の職業体験に繋げたい。	6月～7月 (2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録団体交流会	登録団体の横の繋がりをもっていただく。貸館ルールを再確認。利用者さまからの意見を聞く。	4月26日

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
合同歌声喫茶・ 2016	歌好きな方々が集まって仲間作りや健康作り。また外出の機会を作ることで引きこもり予防。区内全ケアプラザの周知。	5月25日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第四金曜倶楽部	定期的に色々な事業を行うことにより、介護予防に関心をもっていただく。地域包括支援センターや事業内容について情報提供を行う。参加者が自主的に介護予防活動に取り組めるようにする。	4月～9月 (6回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スクエアステップ講座 (ABC会)	住民同士交流しながら、楽しく体を動かす機会を提供し介護予防に興味をもっていただく。身体機能や、認知機能の維持改善をはかる。	毎月1回 (12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ニュータウン福祉まつり「健康フェア」	二俣川ニュータウン地区の福祉まつりで住民の健康チェックを行い、自分の健康について関心をもってもらう。また、介護情報、相談コーナーを設けて地域包括支援センターの周知や各種情報発信を行う。	6月11日

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人の寺子屋	介護予防に関心をもち、進んで介護予防に取り組むきっかけづくりと仲間づくりをし、継続して介護予防に取り組めるようにする。	5月～3月 (12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン散歩道ミニ講座	地域サロンに集う方々に介護予防に関心をもっていただき、身近に出来る介護予防の知識を得て、日常の生活の中に取り入れてもらえるようにする。	毎月1回 (12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
家族介護者の集い	家族介護者が介護を抱えこまない様、他者と分かち合う事で、介護の精神的負担を軽減できる。又介護に役立つ色々な情報を提供し介護の場面で役立ててもらおう。	偶数月 (6回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療相談	ケアプラザ協力医による個別の相談会。本人、家族、民生委員、ケアマネジャーを対象に医療に関する相談ができる。	毎月2～3回 (26回/年)

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症カフェ	認知症とその家族を支援したり、支援者同士の連携を深めたり、地域で認知症の人を支えていくためのベースを作る。	5月～3月 (6回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子供のための救命救急講座	子ども、乳幼児の人形を使用し、心肺蘇生法を実習する。	7月3日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ペーパークイリング ②	細長い紙をクルクル丸めながらパーツを作り、そのパーツを組み合わせているんな形(花・蝶・動物など)に仕上げていくペーパークラフト。	10月～11月 (2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アロマテラピーはじめの一步	地域の交流を持ちながら、楽しくアロマテラピーを学んで、家族や自分自身の癒しを提供して頂きます。高齢者のハンドケアをしてれるボランティア育成。	7月 (2回)

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クラシックの夕べ	開始時刻をこの時期外出しやすい夕方にして、クラシック限定のひとときを楽しんでもらう。	7月27日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
飾り寿司でおもてなし	飾り寿司を通じて地域交流を広げて欲しい。また美しい飾り寿司で食卓を飾り、日本文化を感じて欲しい。	9月～11月 (3回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
今宿サマーフェスタ・2016	毎年1回地区センターと共催で実施、地域の交流を深める施設のお祭り。	8月20日 21日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「横浜市障害者後見制度」講演会	権利擁護事業の一環として、地域住民向けに制度の普及啓発を図る。	6月10日、14日

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「横浜市障害者 後見制度」出張 相談会	権利擁護事業の一環として、地域住民向けに制度の普及啓 発を図る。	6月～2月 (5回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭区SOSネット ワーク協賛店認 知症サポーター 養成講座	旭区徘徊SOSネットワークに登録している協賛店に認知症に ついての勉強会を開催すると共に情報交換を行う。	9月16日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サマーフェスタ 「健康フェア」	地域住民の方に自分の健康について考えてもらうきっかけ づくりと、介護予防の周知を行い、介護予防事業への参加 につなげる。	8月20・21日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスケー キ講習会	ケーキ作りを通じた仲間作り。家族友達との交流や地域 での仲間作り及び地域でのボランティア活動につなげた い。	12月13日

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スクエアステップ講習会	スクエアステップ講座に携わるリーダー・ボランティアの発掘と育成を行う。	10月15日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
一人暮らしの高齢者 お楽しみ会	外出の機会が少ない一人暮らしの高齢者に交流の場を提供し、歌を歌ったり、ビンゴゲームをして楽しんでいただく。	10月9日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コーヒーカップペインティング	ペインティングを通じた仲間作り、交流の場、先生デビューの場とする。	10月24日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママとばあやの手作りおやつ'16秋'	地域のママ世代、ばあば世代が知り合いになるきっかけ作りの場として。	11月29日

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭ふれあい区民まつり	来場しているお客様に地域ケアプラザ及び地域福祉保健計画を知る機会を作る。	10月16日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アロマ小物	ドライフラワー・アロマオイルを使って小物を作ることをきっかけに、外出のきっかけを作り、引きこもりをふせぐ。また、指先を動かし香りを楽しむことで脳の活性化、認知症予防も期待されている。	1月20日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
押し花のある暮らし	自分の押し花を作り、その押し花を使って作品を作ることにより、地域の方々との交流が深まり、外出のきっかけを作り、引きこもりの防止。指先を動かすことで脳の活性化・認知症予防も期待。	1月～2月 (3回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
台湾家族料理	地域の方に台湾出身の講師による本場の味の作り方を学んでいただき、楽しく会食して交流を深めていただく。	1月31日

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
伝えたいおうちごはん	日本伝統の食文化を次の世代に継続し、健康的な食生活を学ぶ。地域の仲間作り及び地域のボランティア活動につなげる。	2月～3月 (2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
紙バンド手芸	材料も少なく、始めやすい手芸。製作する喜びや、完成させる達成感を持っていただくと共に、地域の方との交流もはかりたい。	2月16日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新・人生講座	地域活動への参加促進。実際に精力的に楽しくボランティア活動をしている地域の方を講師に迎え、その活動に至ったきっかけ・経緯・仲間との活動についてお話し頂き地域デビューやボランティアのあり方を参加者の皆様に感じていただく。	3月12日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「成年後見制度・遺言・相続」出張相談会	権利擁護事業の一環として、地域住民の相談の掘起こしや制度の普及啓発を図る。	1月～3月 (2回)

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シルバーエイジの栄養講座	高齢者の低栄養予防とロコモ予防についての栄養知識普及と地域の参加者の交流をはかる。	2月6日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ロコモ予防体操講座	介護が必要になる原因として多いロコモシンドロームとその予防についての知識を得て体操を生活の中にとり入れていけるようになる。	3月1・15日 (2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スクエアステップ紹介講座	歩行力向上、身体機能向上、認知機能向上に効果のあるスクエアステップを地域の方にしていただく。また、スクエアステップリーダーやボランティアの人材育成の機会とする。	3月24日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ガーデンボランティア養成講座	ガーデンボランティアの園芸活動を通して、より健康的な生活が送れるようになる。また、季節の花の植え方や育て方を学び、今宿ガーデンのボランティア活動ができ、自宅や地域での活動に広げていく基盤を作る。	3月16日

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康チェック	地域住民の方に自分の健康について考えてもらうきっかけをつくる。	3月4・5日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
やさしく分かる 成年後見制度	権利擁護事業の一環として、成年後見制度に関して地域に普及啓発を図る。	12月9日